

## 「一般国道 20 号諏訪バイパス」及び「一般国道 153 号飯田南バイパス」の 令和 5 年度 新規事業化について

本日、令和 5 年度 道路関係予算配分概要が公表され、「一般国道 20 号 諏訪バイパス」及び「一般国道 153 号 飯田南バイパス」の直轄事業による新規事業化が決定され、大変うれしく思っております。

一般国道 20 号では、諏訪市・下諏訪町において交通が集中することによる渋滞が発生しているうえ、集中豪雨等の災害による通行止めが度々発生している状況です。

これまでに「下諏訪岡谷バイパス」および「坂室バイパス」事業によるバイパス整備が推進されており、隣接区間となる諏訪バイパスの整備により、交通の円滑化、災害に強い道路の確保、交通事故の減少を図るとともに、安心・快適なまちづくりや地域産業の活性化に寄与するなど、大きな整備効果が期待されます。

一般国道 153 号では、当該区間は生活交通と通過交通の混在による渋滞の発生や十分な歩道幅員がなく通学児童をはじめ歩行者への支障が生じています。

本事業の整備により、交通の円滑化、沿線住民の安全性の向上を図るとともに、地域の産業・経済等の発展や生活の支援に寄与するほか、リニア中央新幹線の開業を見据え、リニア駅を中心とした飯田下伊那地域のアクセス性の向上が期待されます。

県としましては、関連する道路整備に重点的に取り組むとともに、国や沿線市の皆様と連携を図り、積極的に協力を行ってまいります。

その他、現在整備中の直轄事業に関して、地元市町村との協力体制を整え、積極的に支援していく考えです。

新規事業化にあたり、これまで多大なるご支援をいただきました国会議員や県議会議員の皆様をはじめ、沿線市町の皆様など関係の皆様方に、心より感謝申し上げます。

令和 5 年 3 月 31 日 長野県知事 阿部 守一